

会社情報 (2008年6月30日現在)

会社概要

会社名	株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン (GDO)
所在地	東京都港区虎ノ門三丁目4番8号
設立	2000年5月1日
資本金	808百万円
従業員数	連結292名 単体207名 ※平均臨時雇用者数を含む
事業内容	①ゴルフ用品Eコマース事業 ②ゴルフ場向けサービス事業 ③メディア事業

連結子会社

会社名	株式会社ゴルフパラダイス (GP)
所在地	東京都港区虎ノ門三丁目4番8号
事業内容	中古ゴルフクラブの買取・販売 「ゴルフパラダイス」直営店および同フランチャイズチェーンの本部運営

持分法適用関連会社

会社名	テレビ東京ゴルフダイジェスト・オンラインLLC合同会社(TGO)
所在地	東京都港区虎ノ門三丁目4番8号
事業内容	ゴルフ関連の情報提供・広告・検定事業など

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
定時株主総会	決算日の翌日から3カ月以内
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先および郵送先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告制度を導入し、当社ホームページ《 http://www.golfdigest.co.jp 》に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。

役員

代表取締役社長	石坂 信也
取締役	玉井 邦昌
社外取締役	木村 玄一
社外取締役	本田 隆男
社外取締役	木村 正浩
社外取締役	橋岡 宏成
社外取締役	中神 康議
常勤監査役	渡邊 哲男
社外監査役	村西 重孝
社外監査役	上住 敬一

執行役員

最高経営責任者 (CEO)	石坂 信也
最高執行責任者 (COO)	黒田 浩志
最高財務責任者 (CFO)	玉井 邦昌
執行役員 (CO)	遠藤 悟郎
執行役員 (CO)	原田 直生之
執行役員 (CO)	浅川 威
執行役員 (CO)	大日 健

2008年1月1日 ▶ 2008年6月30日

2008年12月期 中間株主通信

GDO REPORT

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン



GDOグループは、世界最強のゴルフサービスを目指します。



代表取締役社長・CEO
石坂 信也

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ゴルフダイジェスト・オンライン（GDO）グループの2008年12月期中間連結会計期間（2008年1月1日から2008年6月30日）の業績は、売上高6,121百万円、営業利益319百万円、中間純利益138百万円となりました。期首の中間期業績予想に対する進捗率は、売上高は106.5%、営業利益は169.8%、中間純利益では247.1%と、大きく飛躍することができました。

個人消費の低迷が鮮明になる中、2期連続で増収増益を達成できた主な要因としては、まずゴルフに関する情報収集から用品の購買までをインターネット上で完結できるという利便性の高さをお客様に評価していただけたことが挙げられます。そして、GDOグループが従来から取り組んできた「GDOトライシクルモデル」の完成度を高め、成果につなげることができました。トライシクル（三輪）とは、GDOグループが展開する『ゴルフ用品Eコマース事業』『ゴ

ルフ場向けサービス事業』『メディア事業』という3つの事業を指し、ゴルファーの方々のあらゆるニーズをGDOサイト内で満たしていただけるよう、各々の分野においてサービスの品質を高める努力を続けてまいりました。

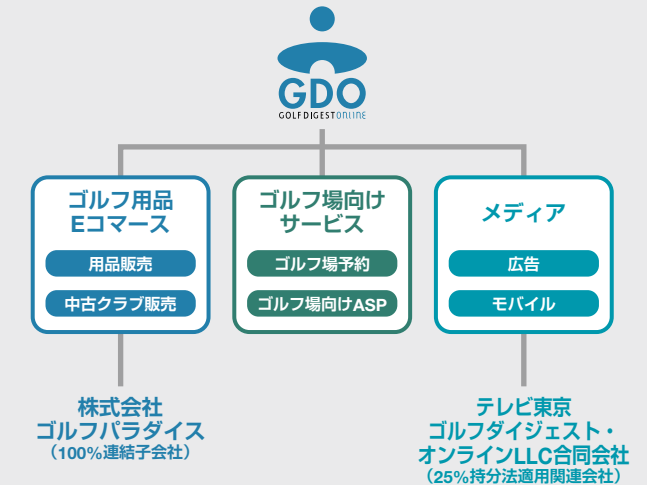
これらの分析を裏付けるデータとして、「月間ユニークビジター（UV）数」「月間ページビュー（PV）数」「1人当たりの平均利用時間」などの各指標を挙げる事ができます。^(注1) まず、2008年1月から6月の月間UV累計数は、前年同期比で136.3%となりました。月間PV数は1億4千万PVとなり、1人当たりの平均利用時間は31分38秒^(注2)と、スポーツのインターネットサイトでは3位となっています。この結果、GDOサイトの広告価値が高まり、ゴルフ業界のみならず、飲料・製薬・自動車企業などからの広告受注が伸び、業績拡大に寄与しました。

GDOグループは、世界最強のゴルフサービスを目指し、ゴルファーの方々に「わくわく」していただけるサービスの提供に全社を挙げて取り組み、より素晴らしいゴルフ環境をつくることに貢献してまいります。今後のGDOグループにぜひともご期待ください。

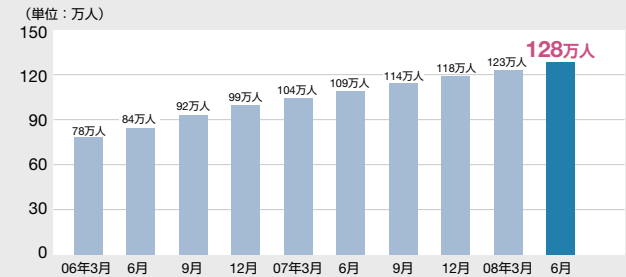
^(注1) 各指標の用語解説はP4に記載してあります。

^(注2) 出典：2008年6月ニールセンオンライン

GDOグループの事業系統図



GDOクラブ会員数



GDOクラブ会員属性

	2002年	→	2008年
60歳以上の構成比	6.5%		10.1%
女性の構成比	8.4%		13.3%
30歳以下の構成比	8.8%		10.8%

Q1 上半期の業績好調の理由をお聞かせください

全体的に消費低迷の中、「GDOトライシクルモデル」の効果により、需要が喚起され収益力が向上しました。(株)ゴルフパラダイスの子会社化の効果が表れ始め、GDOサイト経由で全国各地から買い取った中古クラブを、ゴルフパラダイス店舗に供給するという流れが構築されました。その結果、(株)ゴルフパラダイス自体もグループ入りする前の前年同期に比べ、1店舗当たりの平均売上が126.8%となりました。

また、サイト内導線およびモバイルサイトからGDOサイトへの導線を強化したことにより、モバイル経由での販売、予約が順調に伸び、売上増加に貢献しています。

Q2 国内での今後の事業戦略について教えてください

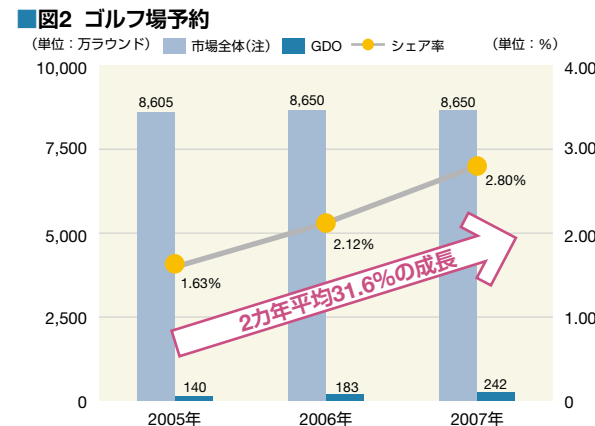
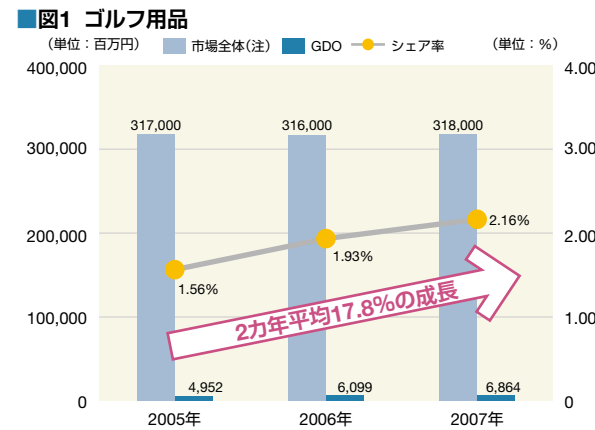
GDOグループはすでに、インターネット×ゴルフという分野では国内最大級を誇っています。

ゴルフ用品Eコマース事業においては、ゴルフ用品の売買等、国内市場において成長の余地が十分にあるため、積極的に仕入先メーカーとの関係を強化して、お客様への供給力をさらに充実していきます。(図1)

ゴルフ場向けサービス事業においては、モバイルサイト経由の予約増加や、ゴルフ場の検索機能の強化に取り組み、「便利さ」の向上による競合他社との差別化により、

年間8,650万ラウンドの国内需要におけるシェア拡大を進めていきます。(図2)

メディア事業においては、モバイルの有料会員が順調に増加しています。さらなる会員獲得のため、電子書籍の配信など有料コンテンツを拡充していきます。



(注) 出典：2007年版ゴルフ産業白書

Q3 海外戦略についての進捗を教えてください

日本のゴルフ産業は、2兆円を超える日本で最大のスポーツ産業であり、世界のゴルフ市場においても、米国に次ぐ巨大な市場です。昨今の女性や若者におけるゴルフブームや、インターネットの利用率向上などを追い風に、GDOグループが今後も高成長トレンドを持続させていく上で、国内ゴルフ市場は十分な市場規模を有しているといえます。

一方、アジア市場に目を向けると、韓国では男女ともに世界的なプロゴルファーを多く輩出していることもあり、ゴルフは大変人気が高く、ゴルフ産業も日本に次ぐ規模となっています。中国では、ゴルフはまだ富裕層向けのスポーツですが、市場は急拡大しています。例えば、ゴルフ場の数は、アジアにおいて日本に次いで2番目に多く、将来的には日本を超える市場規模になるともいわれています。GDOグループは、これらの国々について、現地調査をはじめとする研究をすでに開始していますが、ゴルフ先進国である日本で築いたGDOグループのビジネスモデルは、海外においても十分に競争優位性を発揮できると確信しています。GDOグループとしては、長期的な成長を図る上で、海外展開は重要な戦略であると考えており、今後は慎重にタイミングを見極めて、実現を図っていきたくと考えています。

Q4 最後に株主の皆様へ一言お願いします

GDOグループは、コーポレートガバナンスの強化と企業価値の最大化に向けて、邁進してまいります。

そして上場企業としての社会的責任を強く認識し、株主の皆様のご期待に応えるべく、努力を重ねてまいります。

これからも引き続き、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

2008年9月

代表取締役社長・CEO 石坂信也

用語解説

■ユニークビジター (UV) 数

ウェブサイトを利用した人の数。1人が何回利用しても、1人と数える。

■ページビュー (PV) 数

ウェブサイトのページが閲覧された「延べページ数」。

■1人当たりの平均利用時間

1度ウェブサイトへ接続してから終了するまでの時間の平均。

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)	期首の中間期 業績予想	中間期業績 予想に対する 進捗率
売上高	6,121	5,750	106.5%
売上原価	3,788	-	-
売上総利益	2,334	-	-
販売費及び一般管理費	2,015	1,957	102.0%
営業利益	319	188	169.8%
営業外収益	17	-	-
営業外費用	21	-	-
経常利益	316	163	193.8%
特別利益	1	-	-
特別損失	15	-	-
税金等調整前中間純利益	301	-	-
法人税、住民税及び事業税	122	-	-
法人税等調整額	41	-	-
中間純利益	138	56	247.1%

売上高は『ゴルフ用品Eコマース事業』で4,789百万円、『ゴルフ場向けサービス事業』で918百万円、『メディア事業』で414百万円となりました。『ゴルフ用品Eコマース事業』の売上高には(株)ゴルフパラダイスの売上も含まれます。

セグメント別の営業利益は『ゴルフ用品Eコマース事業』で361百万円、『ゴルフ場向けサービス事業』で506百万円、『メディア事業』で76百万円となりました。

売上高は業績予想に対して106.5%の達成となりました。売上原価は計画的な仕入・販売の効果により控えることができました。販売費及び一般管理費は、その費用対効果を吟味して、その増加を最小限に抑えました。その結果、業績予想に対して営業利益は169.8%を達成しました。中間純利益は、業績予想時の税負担よりも軽減することができ、247.1%の達成となりました。

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

資産の部			
科目	当中間期末 (2008年6月30日)	前期末 (2007年12月31日)	増減額
流動資産	3,447	3,399	48
固定資産	1,488	1,542	△53
有形固定資産	193	205	△12
無形固定資産	668	725	△57
投資その他の資産	627	611	16
資産合計	4,935	4,941	△5

流動資産は、売上高の増加により、主に売掛金が増加しています。

無形固定資産の減少は、主に(株)ゴルフパラダイスののれん償却47百万円によるものです。

負債純資産の部			
科目	当中間期末 (2008年6月30日)	前期末 (2007年12月31日)	増減額
流動負債	2,536	2,617	△82
固定負債	187	275	△88
負債合計	2,723	2,892	△169
純資産合計	2,212	2,048	164
負債純資産合計	4,935	4,941	△5

純資産の増加164百万円は、主に中間純利益の増加によるものです。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)	前期 (2007年1月1日から 2007年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66	651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13	△169
財務活動によるキャッシュ・フロー	109	△393
現金及び現金同等物の増加額	31	90
現金及び現金同等物の期首残高	1,206	1,117
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,237	1,206

中間期決算のポイント

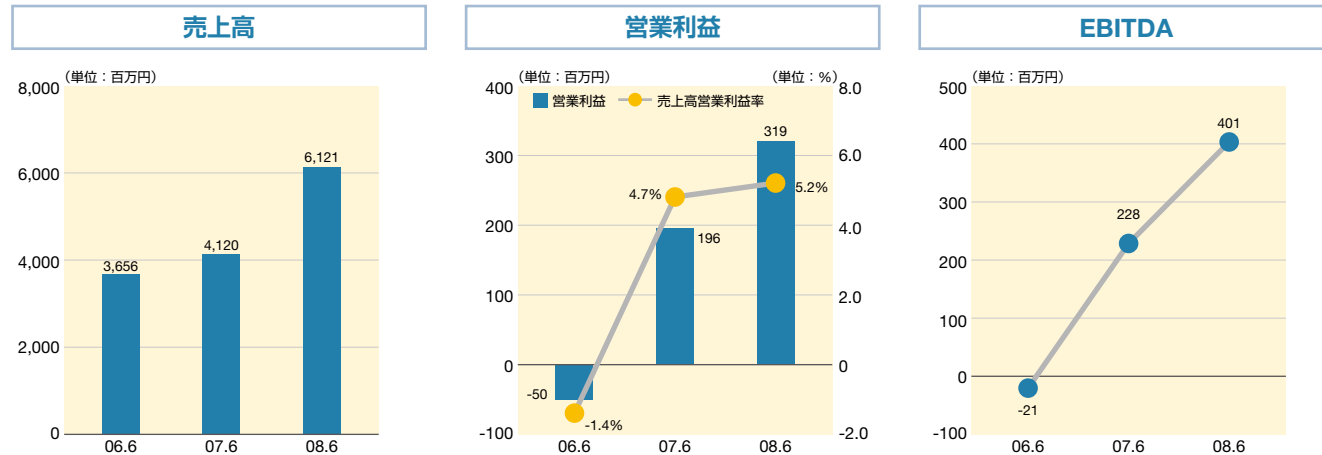
売上高は、特に『ゴルフ用品Eコマース事業』の新品ゴルフ用品売上高の伸びと、2007年8月に連結子会社化した(株)ゴルフパラダイスの中古ゴルフ用品販売の伸びが重なり、売上高6,121百万円(前年同期比148.6%)となり、大きく飛躍することができました。

(株)ゴルフパラダイスにおいては、GDOサイトで中古ゴルフクラブを買い取り、ゴルフパラダイス店舗に供給するという流れも軌道に乗り、ゴルフパラダイス店舗の品揃えが充実しました。それにより店舗の売上高の増大につながり、グループ内で相乗効果を出すことができました。

当中間期は、順調な売上高の伸びに加え、営業利益を意

識した経営に注力してきました。その結果、『ゴルフ場向けサービス事業』は送客人数の伸びとともに順調に営業利益を伸ばし、『メディア事業』の広告売上やモバイルサービスの売上も順調で、営業利益319百万円(前年同期比162.6%)となっています。

「減価償却費」等の非資金項目を控除した利益であるEBITDA(営業利益+減価償却費+のれん)は、順調な売上高の増加と営業利益の増加に伴い、401百万円(前年同期比175.8%)となり、当中間期も引き続き順調に推移しています。



(注1) 2007年8月に(株)ゴルフパラダイスを子会社化しました。
 (注2) 2006年度中間期および2007年度中間期は単体、2008年度中間期は連結となっています。

トピックス

女性向けイベント「ゴルフステーション」を開催しました

GDOグループは、2008年4月21日から25日まで、丸ノ内オアゾ(東京)にて、初の試みとなる期間限定イベント「ゴルフステーション」を開催しました。働く女性をターゲットに、出勤前やお昼休みにゴルフウェアのファッションショー、タレントやプロゴルファーを招いたトークショー、レッスンプロによるワンポイントレッスンを実施し、期間中は最新のゴルフファッション展示や、コースデビューやレッスン、その他ゴルフに関するさまざまな情報を紹介する内容で、1万名を超える方々にご来場いただきました。



【ファッションショー】



【トーク&ワンポイントレッスン】

ここ数年で、女性ゴルファー人口は拡大傾向にあり、GDOクラブ会員の女性の構成比でも、2002年の8.4%と比べて2008年は13.3%に増加しています。今回のイベントでは、主にゴルフに関心の高い女性が積極的に参加してくださり、会場で実施したアンケートからは毎週1回以上練習している人が半数を占め、男性に比べて熱心にレッスンや練習に取り組む姿勢が見られた一方で、コースに出るきっかけがつかめない女性が多いという現状がうかがわれました。イベントを通して、女性ゴルファーの拡大は、新規ゴルファー層の創出の一つの重要な機会であることを改めて認識するとともに、日本のゴルフ市場を活性化する新たなビジネスチャンスを提供するものとなりました。

ゴルフ業界では、女性向けに開発されたゴルフクラブ、ゴルフ施設やサービスが徐々に増えてきていますが、GDOグループでは、今後もこうしたイベントやGDOサイトに寄せられるお客様の声に応えられるよう、ゴルフへの関心を高め、ゴルフを始めるきっかけになるような取り組みを行い、ゴルフ市場の活性化に努めてまいります。



【展示】

会社説明会を実施しました

2007年12月期株主通信において行いましたアンケートの結果を受け、2008年3月26日に開催した第9回定時株主総会終了後、株主の皆様を対象に「会社説明会」を開催しました。

会社説明会では社長の石坂より、厳しい経済環境やゴルフ市場が変化する中で、当社の事業モデルである「GDOトライシクルモデル」が完成度を高め、収益力が向上してきたことについて説明がありました。また、ゴルフの海外市場の状況について、今後の中長期的な展開についての説明もありました。

株主様からは、「会社説明会を継続的に開催してほしい」

「GDOグループについて理解が深まった」というご意見・ご感想をいただきました。また、今後の事業展開や、経営戦略について積極的にご質問いただき、株主の皆様がいかにか当社について理解を深めたいと希望されているかを知ることができました。

今後も引き続き、株主の皆様とのコミュニケーションの場を積極的に設けていきます。



株主優待の内容が変わりました

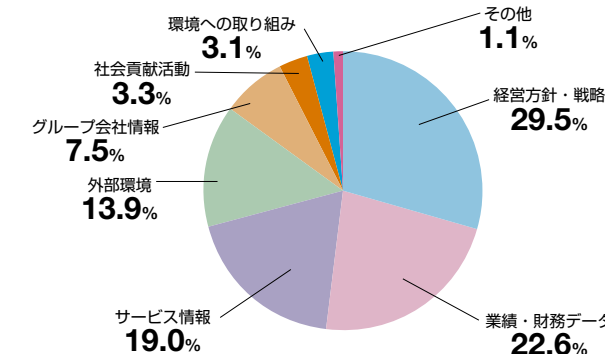
- A** GDOSHOP.com (ジーディーオーショップドットコム) における商品ご購入
- B** GSTART(ジースタート)提携ゴルフ場の一部 (全国約200コース)におけるプレー料金
- C** (株)ゴルフパラダイス 全店舗における商品ご購入 (買取保証サービスは対象外となります) 
ゴルフパラダイスホームページ <http://www.golpara.jp>

これまで多くの株主様より、「インターネットが使えないので株主優待が使えない」という声をいただいております。また、より多くの株主様にGDOグループのサービスをご利用いただきたいという思いもあり、前期よりGDOグループ入りした子会社(株)ゴルフパラダイスのゴルフパラダイス店舗においても株主優待がご利用いただけるようになりました。

ゴルフパラダイス店舗は、直営店およびフランチャイズチェーンを含め全国21店舗を展開しており、全店舗にてご利用いただけます。これを機会にぜひご利用ください。

2007年12月期株主通信に同封いたしましたアンケートに対して、351通(回答率4.9%)ものご回答をいただき、誠にありがとうございました。GDOグループでは、株主の皆様から頂戴しましたご意見、ご要望を真摯に受け止め、今後の経営やIR活動の改善に取り組んでまいります。以下に、アンケートの一部をご紹介します。

■ 今後、株主通信で充実を望む情報



「経営方針・戦略」が29.5%、次点が「業績・財務データ」で22.6%を占めました。この結果を受け、少しでも株主の皆様のご要望にお応えしようと、今回は経営に関する情報と業績・財務情報を中心とした構成にいたしました。期末に向けての途中経過および下半期以降の取り組みなど、ご理解いただけますと幸いです。

前回と同様、アンケート用紙を同封しておりますので、株主の皆様のご意見・ご感想をいただければと思います。

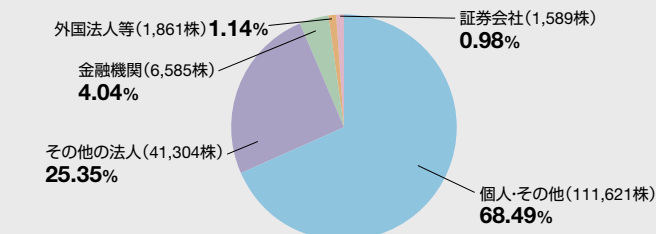
株式の状況 (2008年6月30日現在)

発行可能株式総数	591,640株
発行済株式の総数	162,960株
株主数	7,124名

■ 大株主 (上位8名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
石坂 信也	33,780株	20.73%
株式会社ゴルフダイジェスト社	32,640株	20.03%
木村 玄一	13,900株	8.53%
木村 正浩	10,000株	6.14%
株式会社一休	5,050株	3.10%
金田 武朗	4,930株	3.03%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,500株	2.76%
大日本印刷株式会社	2,760株	1.69%

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有数別株主分布状況

